PAT-NO:

JP02001210005A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2001210005 A

TITLE:

OPTICAL DISK DEVICE

PUBN-DATE:

August 3, 2001

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

MIYASHITA, TADASHI

N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

CITIZEN ELECTRONICS CO LTD

N/A

APPL-NO:

JP2000015124

APPL-DATE:

January 24, 2000

INT-CL (IPC): G11B019/12, G11B007/004, G11B007/24, G11B019/06

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To confirm a label on the front face of an optical disk without stopping an optical disk drive.

SOLUTION: In addition to a reproducing system of an optical disk driving device a light emitting system is made up of a position detecting sensor 200 for detecting a rotary shaft position of a spindle motor 106, a single rotation signal waveform forming circuit 201, a stroboscope lighting circuit 203 connected with the single rotation signal detecting circuit 202, and an light emitting device 204 comprised of a light guide plate and an LED or a light guide plate and a xenon lamp.

COPYRIGHT: (C)2001,JPO

3/17/05, EAST Version: 2.0.1.4

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出顧公開番号 特開2001-210005 (P2001-210005A)

(43)公開日 平成13年8月3日(2001.8.3)

(51) Int.Cl.		設別記号	FΙ			7 -	-73-1*(参考)
G11B I	9/12	5 0 1	G11B	19/12	501	Z	5 D 0 2 9
	7/004			7/004		В	5 D 0 6 6
	7/24	5 7 1		7/24	571	A	5 D 0 9 0
1	9/06	5 0 1		19/06	501	E	

審査請求 未請求 請求項の数3 OL (全 4 頁)

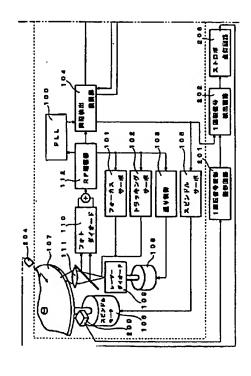
(21)出願番号	特顧2000-15124(P2000-15124)	(71)出願人 000131430			
		株式会社シチズン電子			
(22)出顧日	平成12年1月24日(2000.1.24)	山梨県富士吉田市上暮地1丁目23番1号			
		(72)発明者 宮下 正			
		山梨県富士吉田市上暮地1丁目23番1号			
		株式会社シチズン電子内			
		(74)代理人 100085280			
		弁理士 高宗 寛晓			
		Fターム(参考) 50029 PA01 PA03			
		50066 GA02 GA07			
		50090 AA01 CC04 CC18 DD03 D005			
		HHO3 HHO8 LLO8 LLO9			

(54) 【発明の名称】 光ディスク装置

(57)【要約】

【課題】 光ディスクの前面のラベルを光ディスクドライブ装置を停止させることなく確認する。

【解決手段】 光ディスクドライブ装置の再生システムのほかに、光照射システムを、スピンドルモータ106の回転軸の位置を検出する位置検出センサ200と、スピンドルモータ106の1回転信号波形成形回路201、1回転信号検出回路202に接続されたストロボ点灯回路203、ストロボ点灯回路203に接続された、導光板とLEDまたは導光板とキセノンランプとからなる光照射装置204とで構成する。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 光ディスクにビデオ、オーデオ信号が記 録された信号を再生する光ディスクドライブ装置におい て、該光ディスクドライブ装置の回転数を検出する検出 回路と、該検出回路で検出された前記光ディスクドライ ブ装置の回転数に追従して前記光ディスクの前面を間欠 的に照射する光照射装置とを有することを特徴とする光 ディスク装置。

【請求項2】 前記光照射装置は、導光板とLEDまた は導光板とキセノンランプとで構成されたことを特徴と 10 する請求項1に記載の光ディスク装置。

【請求項3】 前記光ディスクの前面には、記録された 信号の特徴を示す画像または文字または略記号が表示さ れている前記光ディスクを用いることを特徴とする請求 項1または請求項2に記載の光ディスク装置。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、AV(オーデオ、 ビデオ)のデジタル信号が記録されたDVD、LD、M ので、特に光ディスクの前面に、記録されたデジタル信 号の特徴を示す画像または文字または略記号が表示され ているラベルを識別するため、動作中の光による間欠的 な照射をする光ディスク装置に関するものである。

[0002]

【従来の技術】AV (オーデオ、ビデオ) のデジタル信 号が記録されたDVD、LD、MD、CD、MO等の光 ディスクドライブ装置を使用中に、しばしば光ディスク の前面に、記録されたデジタル信号の特徴を示す画像ま たは文字または略記号が表示されているラベルを識別し 30 たくなることが多い。

[0003]

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、光ディ スクの回転中は、光ディスクの前面に、記録されたデジ タル信号の特徴を示す画像または文字または略記号が表 示されているラベルを通常の方法では識別することがで きない。どうしても識別したければ、一旦は光ディスク ドライブ装置(以下装置と略称)を停止して光ディスク を前記装置から取り出して確認しなければならず、大変 不便である。本発明の目的は、前述の欠点を除去して、 光ディスクの回転中においても、光ディスクの前面に、 記録されたデジタル信号の特徴を示す画像または文字ま たは略記号が表示されているラベルを識別することを可 能とするものである。

[0004]

【課題を解決するための手段】課題を解決するためにな された本発明の請求項1の光ディスク装置は、光ディス クにビデオ、オーデオ信号が記録された信号を再生する 光ディスクドライブ装置において、該光ディスクドライ

出された前記光ディスクドライブ装置の回転数に追従し て前記光ディスクの前面を間欠的に照射する光照射装置 とを有することを特徴とするものである。

【0005】また、課題を解決するためになされた本発 明の請求項2の光ディスク装置は、前記光照射装置は、 導光板とLEDまたは導光板とキセノンランプとで構成 されたことを特徴とするものである。

【0006】更に、課題を解決するためになされた本発 明の請求項3の光ディスク装置は、前記光ディスクの前 面には、記録された信号の特徴を示す画像または文字ま たは略記号が表示されている前記光ディスクを用いるこ とを特徴とするものである。

[0007]

【発明の実施の形態】以下では、本発明の実施の形態を 図面の基づいて説明する。図1(図1の前半部を図1 (A)、図1の後半部を図1(B)で示す。)は、本発 明の概要を示すCDを事例とするシステム図である。図 1において、点線で囲まれた回路ブロック図・150 は、従来からのCDのデジタル記録された信号の再生シ D、CD、MO等の光ディスクドライブ装置に関するも 20 ステムを示している。システムコントロール131に接 続されている操作キー132を操作すると、AVの再生 が表示器133に表示され、操作信号を例えば曲の頭を 示すサブコードリーダ113で読んで同期検出復調器1 04を経由してスピンドルサーボ105が働き、ディス ク107を搭載したスピンドルモータ106が回転す る。一般には、CDの事例では、スピンドルモータ10 6の回転数はCLV(一定線速度)で内周500rpm~ 外周200rpmまで変化する。サブコードリーダ113 によってフェーズロックループ (PLL) 100は、R F増幅器112に接続されているフォーカスサーボ10 1、トラッキングサーボ102、光ピックアップ装置を スライドする送り制御103を制御して、光ピックアッ プモータ108を送り位置決めし、レーザダイオード1 09からのレーザ光を光ピックアップ装置に搭載されて いる対物レンズ111を経由してディスク107に照射 し、その戻り光をフォトダイオード110に受けてRF 増幅器112を経由してロックする。 フォトダイオード 110からの再生信号は、RF増幅器112を経由して 同期検出復調器104を経て1.6kメモリRAM12 0に接続されている誤り訂正ディインターリーブ121 を経て、コントロールRAM122、D/A変換器12 3、LR分離器124を経由し、LR分離器124に2 系列の夫々接続されているサンプルホールド125、1 26、ローパスフィルタ127、128、増幅器12 9、130を経由してRチャンネル出力信号135及び しチャンネル出力信号134が得られる。

【0008】本発明のディスクへの光照射システムは、 前記回路ブロック図・150に付加されるものであり、 スピンドルモータ106の回転軸の位置を検出する位置 ブ装置の回転数を検出する検出回路と、該検出回路で検 50 検出センサ200と、スピンドルモータ106の1回転

3/17/05, EAST Version: 2.0.1.4

3

信号波形成形回路201、1回転信号検出回路202に 接続されたストロボ点灯回路203、ストロボ点灯回路 203に接続された、導光板(図省略)とLEDまたは 導光板 (図省略) とキセノンランプとからなる光照射装 置204とで構成される。

【0009】ディスク107の前面に光照射装置204 から光が間欠的にスピンドルモータ106の回転数に同 期して照射されると、ディスク107の前面に固着され ているラベル、即ち画像、略号、写真等が光ディスクド ライブ装置を停止させずに見ることができる。その結 果、操作キー132を操作し直したりする手間が省ける ことになる。

【0010】本発明の構成は、CLV (一定線速度)以 外のディスク例えばCAV (一定角速度) にも適用で き、更にCDだけではなくDVD、LD、MD、MO等 広範囲の光ディスクに応用することができる。

[0011]

【発明の効果】本発明によれば、光ディスクドライブ装 置を停止させたり、操作し直したりすることなくディス ク107の前面に固着されているラベル、即ち画像、略 20 204 光照射装置

号、写真等を確認することができるので誤操作がなくな るこである。

【0012】また、本発明によれば、CDだけではなく DVD、LD、MD、MO等広範囲の光ディスクにも同 様の構成が適用できる。

【0013】また更に、本発明によれば、構成が簡単で あるからコスト/パフォーマンスが優れており実用効果 は顕著である。

【図面の簡単な説明】

10 【図1(A)】図1は本発明の概要を示すCDを事例と するシステム図であって、図1(A)は図1の前半部の 部分図である。

【図1(B)】図1(B)は図1の後半部の部分図であ る.

【符号の説明】

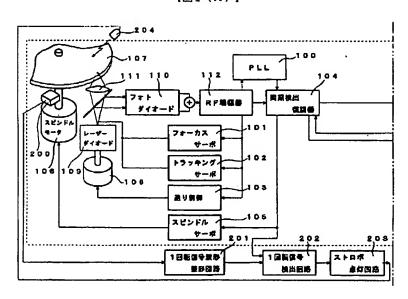
200 位置検出センサ

201 1回転信号波形成形回路

202 1回転信号検出回路

203 ストロボ点灯回路

【図1(A)】



【図1 (B)】

